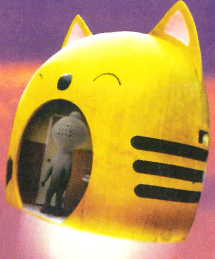
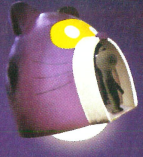


少年と博士が探してくれた冒険の鍵がそこにある！



平成18年7月22日(土)～9月3日(日)
開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日／月曜日
入場料／無料
会場／刈谷市美術館 特別・第一展示室
主催／刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市美術館

マツオカトオル
松岡徹展

カ タ ヤ マ マ タ ミ ナ 計 画

製作・松岡徹 監督・松岡徹 脚本・松岡徹 撮影・松岡徹 美術・松岡徹 照明・松岡徹 主演・松岡徹

刈谷市美術館 Kariya City Art Museum

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地 TEL.0566-23-1636 FAX.0566-26-0511 <http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>

「カリカリ大作戦」計画

少年と博士が探してくれた冒険の鍵がそこにある

夏休みのある日、少年は空飛ぶねこトイレを目撃した。

追いかけていくと、たどり着いたのは取り壊しが始まった古い送信所だった。

そこで少年は謎の生命体を探す博士と出会い、「カリカリ星人」の存在を知ることになる。

少年はカリリファンタジー計画と名付けられた、その調査を手伝うことに。

次々と発見される「カリカリ星人」の秘密。

彼らは、いったいどこからやって来たのか。どこに行くのか。空飛ぶねこトイレとは…。

町中に広がる謎と冒険。2006年夏、少年と博士が探した冒険の扉がひらく。

※1 刈谷市内のいくつかの公園には、ねこやパンダ型といったユニークなトイレがある。

ほかにサッカードル型などもあり、憩いの場として親しみのある空間を演出している。

※2 刈谷市内にあった依佐美送信所(よさみそうしんじょ)は、1929年に設立された欧州との

通信施設。戦後は米軍が使用。1997年に8本の鉄塔、2006年5月に送信所が解体された。

なお、跡地に送信所記念館とフローラルガーデンが2007年4月にオープン予定。

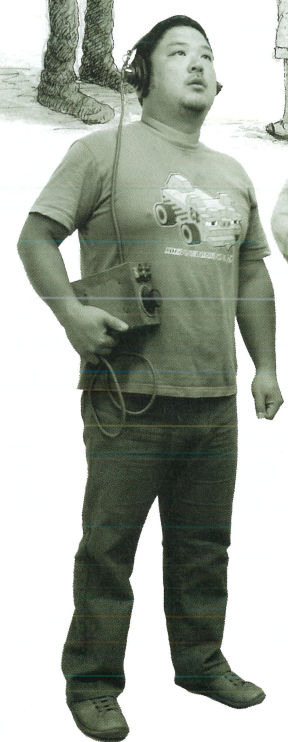
※3 松岡徹は今回の個展のために、市内要所を取り上げた架空の物語を作り上げた。

本展ではこの物語にまつわる松岡の立体作品や写真、ドローイングなどを展示する。

「カリリファンタジー計画」とは物語や作品を通して、観客をどこかおかしなファンタジーの世界へ誘いしようとする計画。不可思議な松岡ワールドに入り込んでみよう。



製作総指揮／松岡徹(1968年愛知県岡崎市生まれ)
紙を素材にしたハリボテ状の立体作品やユニークな
写真の製作、子どものためのワークショップを行う
今注目の若手美術家。彼のファンタジックな世界観は
日本や海外での展覧会活動にて世界中に広まりつつある。



会期中の催しもの
つくる・みるプログラム(松岡徹によるワークショップ)
【カリカリ大作戦 指令:不思議ヲ見ツケダセ】
日時/7月23日(日) 10:00~15:30
対象/小学生
定員/20名(事前申し込み必要)
参加費/500円(レクリエーション保険代+材料費)
内容/君も調査隊の一員となり、使い捨てカメラを持って出動。
「写真ヲ切り貼りシテ、レポートヲ作成セヨ」
持ちもの/使い捨てカメラ(レンズ付フィルム・35mmフィルム27枚撮)を各自で用意し、持参してください。
会場/美術館2階研修室他
申込方法/「往復はがき」か「FAX」にて、参加したい催しもの名、参加者名(ふりがな)、住所、TEL・FAX、年齢(学年、学校名、保護者名)をご記入のうえ美術館までお申し込みください。
なお、返信用はがきにも住所と名前を記入してください。
※定員を越えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。しめきりは、7月14日(金)(必着)まで。
あて先/〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地 刈谷市美術館
FAX.0566-26-0511



電車/JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩10分
※「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で15分
車/名古屋方面より/国道23号線(知立バイパス)「一ツ木IC」から約5km/駐車場60台(無料)

刈谷市美術館
Kariya City Art Museum
〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
TEL.0566-23-1636 FAX.0566-26-0511
<http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>